

# Makita

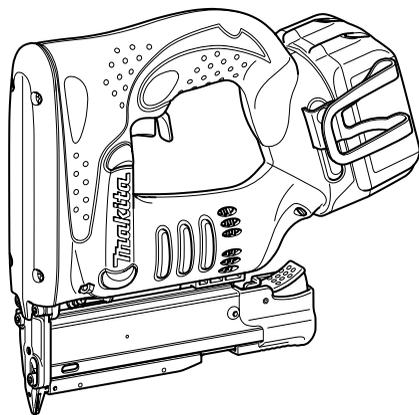
ヒューマンハードウェアのマキタ  
人の暮らしとすまいのために……

## 取扱説明書

## 充電式ピンタッカ

モデル PT350D

モデル PT351D



このたびは**充電式ピンタッカ**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



# 目次

・ 主要機能	-----3
・ 安全上のご注意	-----5
・ 充電式ピンタッカ安全上のご注意	-----9
・ 各部の名称および標準付属品	-----11
・ 別販売品のご紹介	-----12
・ 使い方	-----13
・ バッテリーの取り付け・取りはずし方	-----13
・ バッテリーについて	-----13
・ バッテリーの充電方法	-----13
・ 充電完了メロディーの切り替え方法	-----14
・ 充電表示ライトについて	-----15
・ 冷却システムについて	-----16
・ オートメンテナンス機能について	-----17
・ バッテリーを長持ちさせるには	-----17
・ バッテリーの回収について	-----17
・ 充電器の点検・修理・保管について	-----17
・ 安全装置の確認	-----18
・ ダブルトリガ（トリガ、セーフティトリガ）の使い方	-----19
・ ライトの点灯	-----19
・ ピンネイルの装てんについて	-----20
・ ピンネイルの抜き取り方	-----21
・ 打ち込み方法について	-----21
・ 空打ち防止機能	-----22
・ 打ち込み調整について	-----22
・ ピンネイル詰まりの直し方	-----23
・ ノーズアダプタについて	-----23
・ フックについて	-----24
・ フックの取り付け・取りはずし方	-----24
・ 六角棒レンチの収納	-----24
・ 1回の充電での作業量	-----25
・ 保守・点検について	-----26
・ 本機のお手入れ	-----26
・ ご修理の際は	-----26

# 主要機能

モデル	PT350D	PT351D
主要機能	直流マグネットモータ	
電動機	リチウムイオンバッテリー	
バッテリー	バッテリー BL1430 (容量 3.0Ah)	バッテリー BL1830 (容量 3.0Ah)
電圧	直流 14.4V	直流 18V
使用ピンネイル	径 0.6mm × 長さ 18、25、30、35mm	
装てん数	130 本	
本機寸法	長さ 227mm × 幅 79mm × 高さ 245mm	長さ 227mm × 幅 79mm × 高さ 249mm
質量	2.0kg	2.1kg
急速充電器	DC18RC	
入力電圧	単相交流 100V	
入力周波数	50-60Hz	
入力容量	410VA	
出力電圧	直流 7.2-18V	
出力電流	直流 9A	

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

## 注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

### 警告

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

### 注意

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

### 注

： 製品および付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

# 安全上のご注意

JPA002-35

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ・ 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡してください。

## ⚠ 警告

安全作業のために：

ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

1. マキタ専用の指定のバッテリー以外を使わないでください。
  - ・ 改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。工本体の性能や安全性等も損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発熱、発火、破裂などの原因になります。
2. バッテリーは、火への投入、加熱をしないでください。
  - ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
3. バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。
  - ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
4. バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。
  - ・ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。発熱、発火、破裂の恐れがあります。
  - ・ 本機または充電器からはずした後は、バッテリーにバッテリーカバーを必ず取り付けてください。
5. バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
  - ・ 発熱・発火・破裂の恐れがあります。
6. バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。
  - ・ バッテリーの液漏れ、発熱、破裂の恐れがあります。
7. 正しく充電してください。
  - ・ 充電器は定格表示してある電源で使用してください。昇圧器などのトランス類を使用したり直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）異常に発熱し、火災の恐れがあります。
  - ・ 周囲温度が10℃未満、または周囲温度が40℃以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
  - ・ バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。バッテリーや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
  - ・ 使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。破裂や火災の恐れがあります。
8. ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
  - ・ 感電の恐れがあります。

## ⚠ 警告

9. 作業場の周囲状況も考慮してください。
  - ・ 充電工具、充電器、バッテリーは、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
  - ・ 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は事故の恐れがあります。
  - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用、充電しないでください。爆発や火災の恐れがあります。
10. 保護めがねを使用してください。
  - ・ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
11. 防音用保護具を着用してください。
  - ・ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音用保護具を着用してください。
12. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
  - ・ 材料を固定するために、クランプや万力を使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。（材料を動かして加工する製品を除く。）
13. 次の場合は、充電工具のスイッチを切り、バッテリーを本機から抜いてください。
  - ・ 使用しない、または修理する場合。
  - ・ 刃物（刈刃）、ビットなどの付属品を交換する場合。
  - ・ その他危険が予想される場合。
14. 不意な始動は避けてください。
  - ・ スイッチに指を掛けて運ばないでください。
  - ・ バッテリーをさし込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
15. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
  - ・ この取扱説明書、および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。
16. バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。
17. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
18. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。
19. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
  - ・ 爆発や火災の恐れがあります。
20. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
  - ・ ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニール等の上では充電しないでください。
  - ・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすい物を差し込まないでください。
  - ・ 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。
21. 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
  - ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
22. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。

## ⚠ 注意

1. **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
  - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. **子供を近付けないでください。**
  - ・ 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
  - ・ 作業者以外、作業場へ近付けないでください。
3. **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
  - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。事故の恐れがあります。
  - ・ バッテリーを、周囲温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内等）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
4. **無理して使用しないでください。**
  - ・ 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った速さで作業してください。
  - ・ モータがロックするような無理な使い方はしないでください。
5. **作業に合った充電工具を使用してください。**
  - ・ 小型の充電工具やアタッチメントは、大型の充電工具で行う作業には使用しないでください。
  - ・ 指定された用途以外に使用しないでください。
6. **きちんとした服装で作業してください。**
  - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
  - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をおすすめします。
  - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. **充電工具は、注意深く手入れをしてください。**
  - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物（刈刃）類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
  - ・ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
  - ・ 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
  - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
  - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
8. **充電器のコードを乱暴に扱わないでください。**
  - ・ コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜いたりしないでください。
  - ・ コードを熱、油、薬品、角のある所に近づけないでください。
  - ・ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
  - ・ 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。

## ⚠ 注意

9. 無理な姿勢で作業をしないでください。
    - ・ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
  10. 調節キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
    - ・ スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取りはずしであることを確認してください。
  11. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
    - ・ 屋外で充電する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
  12. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
    - ・ 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
    - ・ 疲れている場合は、使用しないでください。
  13. 損傷した部品がないか点検してください。
    - ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
    - ・ 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響をおよぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
    - ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
    - ・ スイッチで始動、および停止操作の出来ない充電工具は、使用しないでください。
  14. 充電工具の修理は、専門店にお申し付けください。
    - ・ 本体、充電器、バッテリーを分解、修理、改造は行なわないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
    - ・ 本体が熱くなったり、異常に気付いた時は点検・修理に出してください。
    - ・ 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
    - ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
    - ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を發揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
  15. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
- この取扱説明書は、大切に保管してください。

### ●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

# 充電式ピンタッカ安全上のご注意

先に充電工具として共通の注意事項を述べましたが、充電式ピンタッカとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

JPB172-4

## ⚠ 警告

1. 射出口を人に向けたり、手足を射出口付近に近づけたりしないでください。
  - ・ 誤って発射した場合に事故の原因になります。
2. 近くに人がいないことを確認してから作業を始めてください。
  - ・ 打ち損じのステーブルなどがあたりけがをする原因となります。
3. 壁の内、外側からの同時作業はしないでください。
  - ・ ステーブルが突き抜けたりそれたりしたとき、事故の原因になります。
4. 安全装置（ダブルトリガ）が正常に作動するか確認してからご使用ください。
  - ・ 安全装置に異常があると、事故の原因になります。
5. トリガに指をかけたまま運んだり、手渡しなどをしないでください。
  - ・ 誤って発射したとき、けがの原因になります。
6. 揮発性可燃物（ガソリン・シンナーなど）の近くでは使用しないでください。
  - ・ 釘を打ち込むときの火花で火災を起こす恐れがあります。
7. 釘打ち作業以外の用途には使用しないでください。
  - ・ 事故の原因になります。
8. 足場を使って作業する場合、常に足場をしっかりとさせ、バランスが保てる姿勢で作業してください。
  - ・ 足場が不安定だと事故の原因になります。
9. 屋根などで作業するときは、前進しながら打つようにしてください。
  - ・ 後退しながら打つと足を踏みはずし、事故の原因になります。
10. バッテリーを差し込むときは、トリガに指をかけないでください。
  - ・ 誤って発射された場合に事故の原因になります。
11. 次の場合は、本機からバッテリーをはずしてください。
  - ・ 誤って本機が作動すると事故の原因になります。
    - 修理する場合。
    - 釘を装てんする場合、また取り出す場合。
    - 作業中、本機を持って移動する場合。
12. 使用中、本機の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
  - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
13. 誤って落としたり、ぶつけたときは、本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
  - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
14. 作業する箇所に電線管やガス管などの埋設物がないことを確かめてください。
  - ・ 埋設物を損傷すると感電やガス漏れ事故の原因になります。
15. 作業環境に応じてヘルメットなども着用して釘打ち作業をしてください。
  - ・ 事故の原因になります。

## ⚠ 注意

1. 射出口を金属等の硬いものに当てて打たないでください。
  - ・ 事故の原因になります。
2. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
  - ・ 材料や本機などを落としたときなど、事故の原因になります。
3. 射出口を確実に材料に当ててください。
  - ・ 確実に当てていないと、釘がはね返り、事故の原因になります。
4. 作業中は、本機に顔などを近づけないでください。
  - ・ 釘の上や木の節などに当たった場合、本機が大きく反動し、けがをする原因になります。

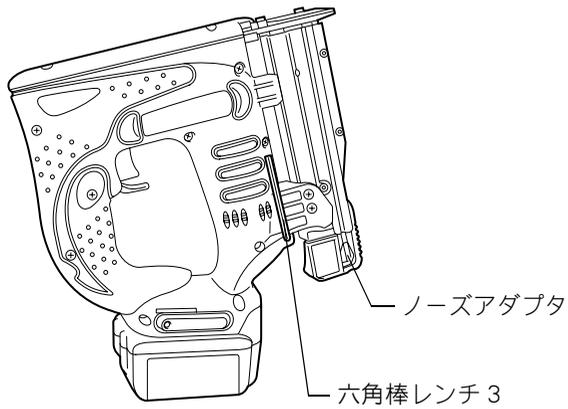
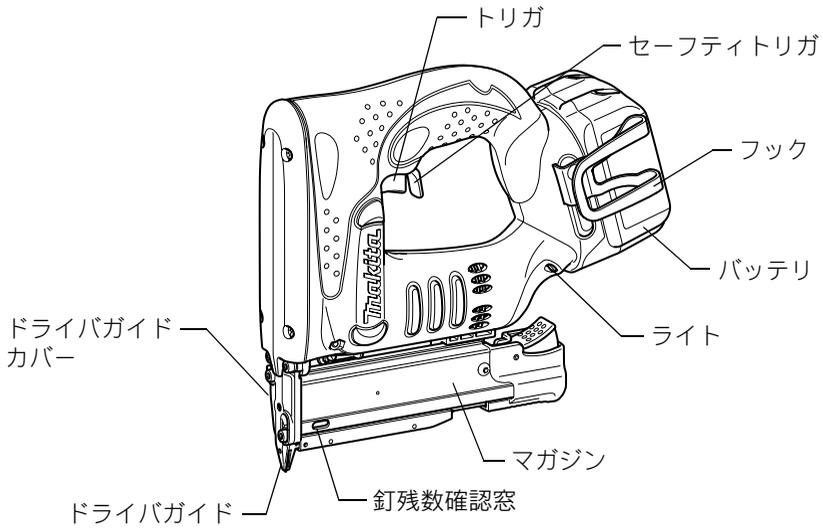
## 注

- ・ 電源が離れていて延長コードが必要なときは、充電器を最高の能率で支障なくご使用いただくために十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できる延長コードの太さ（公称断面積）と長さの目安

コードの太さ（導体公称断面積）	コードの長さの目安
1.25mm <sup>2</sup>	20m
2.0mm <sup>2</sup>	30m

# 各部の名称および標準付属品



## 各部の名称および標準付属品

### 製品の組み合わせ及び標準付属品

標準付属品	モデル	PT350DZK	PT351DZK	PT350DRF	PT351DRF
	バッテリー			×	○バッテリー BL1430
充電器 (充電時間)			×	○ DC18RC (約 22 分)	
フック			○	○	
プラスチックケース			○	○	
ノーズアダプタ (本機取り付け)			○	○	
セーフティゴーグル (保護メガネ)			○	○	
六角棒レンチ 3 (本機取り付け)			○	○	
ドライバセット品 (ドライバ・頭付ピン 4・作業手順書)			○	○	
バッテリーカバー			×	○	

## 別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店もしくは、当社営業所へお問い合わせください。
- ・ ピンネイル

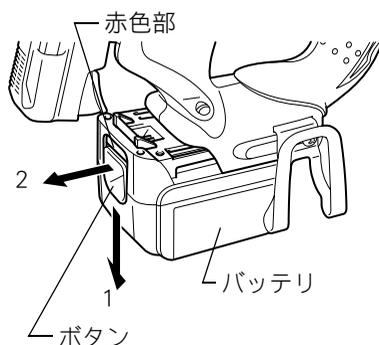
径 (mm)	長さ (mm)
0.6	18
	25
	30
	35

- ・ バッテリー BL1430  
部品番号 A-42634
- ・ バッテリー BL1830  
部品番号 A-47896

# 使い方

## バッテリーの取り付け・取りはずし方

- ・ バッテリーを本機から取りはずす時は、
  1. バッテリー正面のボタンを下げながら
  2. スライドさせると取りはずせます。
- ・ 取り付ける時は逆の要領で、本機の溝に合わせ、奥まで挿入してください。この際、ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまで、奥まで確実に挿入してください。

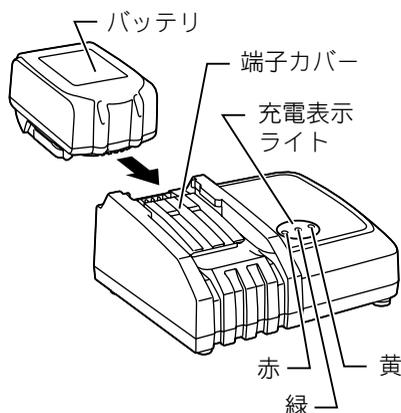


## バッテリーについて

- ・ お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていません。(スイッチを操作すると本機は動くおそれがありますので注意してください。) ご使用前に充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ・ 使用しないときはバッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。

## バッテリーの充電方法

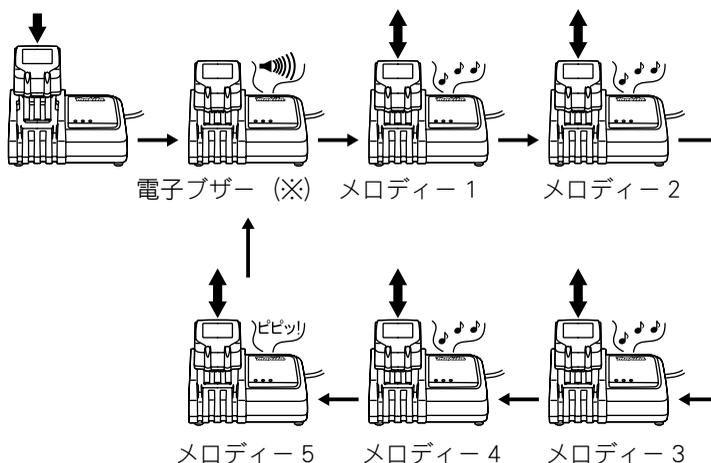
1. 充電器の電源プラグを 100V の電源コンセントに差し込んでください。充電表示ライトは「緑」の点滅を繰り返します。
2. バッテリーを充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れてください。充電器の端子カバーはバッテリー挿入に伴い開閉します。
3. バッテリーを挿入しますと充電表示ライトが「赤」に点灯し、現在設定されている充電完了メロディーが短時間流れ、充電を開始します。充電が完了すると「緑」の点灯に変わり、充電完了メロディーや電子ブザーが鳴ります。そのままバッテリーを挿入しておけば、バッテリーを冷却します。充電時間は周囲温度 (10℃～40℃) やバッテリーの状態 (新品・長期保存バッテリーや寿命に近いバッテリーなど) により変動します。
4. 充電完了後すぐに使用しない場合は、バッテリーの冷却を行いますのでそのまま差し込んでおくことをおすすめします。冷却期間は約 1 時間です。
5. バッテリーを抜き取り、電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。



# 使い方

## 充電完了メロディーの切り替え方法

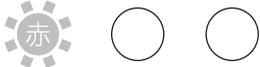
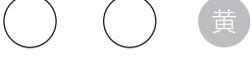
1. バッテリーを充電器に差し込むと、現在設定 (※) されている充電完了メロディーの確認音が短時間流れます。
2. このとき、約 5 秒以内にバッテリーを差し直すと充電完了メロディーの確認音が変わります。
3. 続けて約 5 秒以内にバッテリーを差し直すたびに充電完了メロディーの確認音が順に変わります。
4. 設定したい充電完了メロディーの確認音が流れましたら、バッテリーを挿入したままにすることで充電を開始します。「ピピッ！」と鳴るモードを選んだときは充電完了時に音がしません (無音モード)。
5. 充電が完了すると充電表示ライトが「緑」の点灯に変わり、バッテリー挿入時に設定した充電完了メロディーや電子ブザーが鳴ります。無音モードを選択した場合には完了時に音はしません。  
設定した充電完了メロディーは充電器の電源プラグを抜いても記憶されています。



(※) 出荷時は電子ブザーに設定されています。

# 使い方

## 充電表示ライトについて

ライト表示	表示内容
	充電前「緑 1 個」点滅 電源に差し込んだ状態です。
	冷却中「赤 1 個」点滅 バッテリーが高温です。冷却後、自動的に充電開始します。
	充電中「赤 1 個」点灯 バッテリー容量約0～80%を示します。
	充電中「赤 1 個・緑 1 個」点灯 バッテリー容量約80～100%を示します。
	充電完了「緑 1 個」点灯 電子ブザー またはメロディー
	充電不可「赤・緑 1 個」交互点滅 電子ブザー バッテリー寿命またはゴミつまりで充電できません。
	オートメンテナンス「黄」点灯 バッテリー寿命低下防止のため充電時間が長くなります。
	冷却システム異常「黄」点滅 冷却ファン故障または冷却不足です。

## 注

- ・ DC18RC はマキタバッテリー専用の急速充電器です。他の目的に使用しないでください。
- ・ 使用直後のバッテリーや直射日光の当たる所に長時間放置したバッテリーを充電されずと充電表示ライトが「赤」の点滅を繰り返す場合があります。このようなときは、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリーを冷却してから充電を開始します。
- ・ 充電開始後、充電表示ライトが「赤・緑」の交互点滅を繰り返し、電子ブザーが「ピッピッピッ」と約 20 秒間鳴った場合は、バッテリーの寿命またはゴミづまりで充電できません。
- ・ バッテリーを連続で充電される場合は、充電時間が長くなる場合があります。
- ・ オートメンテナンス機能により、充電時間が周囲温度（10℃～40℃）やバッテリーの状態に応じて変動します。
- ・ 次のような状態のときは、充電器またはバッテリーに故障があると考えられますので、充電器とバッテリーの両方を、お買い上げの販売店または当社営業所へお持ちください。
  - × 充電器の電源プラグを 100V の電源コンセントに差し込んでも、表示ライトが「緑」に点滅しない。
  - × バッテリーを挿入しても、表示ライトが「赤」に点灯または点滅しない。
  - × 充電開始後、表示ライトが「赤」に点灯した後、1 時間以上たっても充電が完了しない。（表示ライトが「緑」に変わらない）。

## 冷却システムについて

- ・ バッテリーの性能を十分に発揮させるため、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリーを効率良く冷却するシステムです。送風の音がしますが故障ではありません。
- ・ 冷却ファンが故障したり、充電器やバッテリーのゴミづまりによって冷却不足となった場合、「黄」のライトが点滅し冷却システム異常をお知らせします。冷却システム異常の場合も充電を行います。充電時間が長くなる場合があります。このようなときは、充電器、バッテリーの風穴がふさがれていないか、または送風の音がしないか、ご確認ください。
- ・ 充電中、送風の音がしない場合がありますが、「黄」のライトが点滅してなければ故障ではありません。冷却ファンを停止して充電することがあります。
- ・ 充電器、バッテリーの風穴をふさがないでください。
- ・ 頻繁に「黄」のライトが点滅するようなときは、点検・修理をお申し付けください。

# 使い方

## オートメンテナンス機能について

- ・ オートメンテナンス機能は、バッテリーの使用状態に応じて自動的にバッテリーを長持ちさせるように最適な充電を行うことを特徴としています。
- ・ 下記 1～4 の状態となった場合、特にバッテリー寿命が低下しやすい状況にあるため、充電中に「黄」のライトが点灯して充電時間が長くなる場合があります。
  - 1 高温充電の繰り返し
  - 2 低温充電の繰り返し
  - 3 満充電バッテリーの再充電の繰り返し
  - 4 過放電の繰り返し(過放電とは工具の力が弱くなってもさらに使用する状態です)

## バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度 10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 使用直後などの熱くなったバッテリーは、充電器に差し込んで冷却し充電することをおすすめします。
- ・ 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリーは、充電してから保管することをおすすめします。

## バッテリーの回収について

- ・ 使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店または当社営業所へご持参ください。



Li-ion

リチウムイオンバッテリーは  
リサイクルへ

## 充電器の点検・修理・保管について

- ・ いつも安全に能率よくお使いいただくために定期点検をおすすめします。修理・点検はお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 充電器の保管場所として次のような場所は避けてください。
  - × お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる所
  - × 温度や湿度の急変する所
  - × 湿気の多い所
  - × 直射日光の当たる所
  - × 揮発性物質の置いてある所

# 使い方

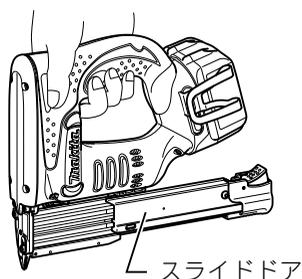
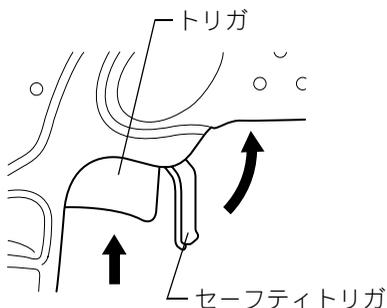
## 安全装置の確認

### ⚠ 警告

安全装置（ダブルトリガ）が正常に作動するか確認してからご使用ください。

・ 安全装置に異常があると、事故の原因になります。

- ・ 釘を打つ作業に入る前に安全装置に異常がないかを下記の手順で確認してください。
- 1. 確認作業にはいる前に本機に釘が装てんされていないことを確認してください。
- 2. マガジンのスライドドアを手前に引いてください。
- 3. セーフティトリガを引いていないのにもかかわらず、トリガが引けて、本機が作動してしまう。
- 4. セーフティトリガを引いているのにもかかわらず、トリガを引いても、本機が作動しない。
- 5. 3、4のような場合は、安全装置が異常です。



# 使い方

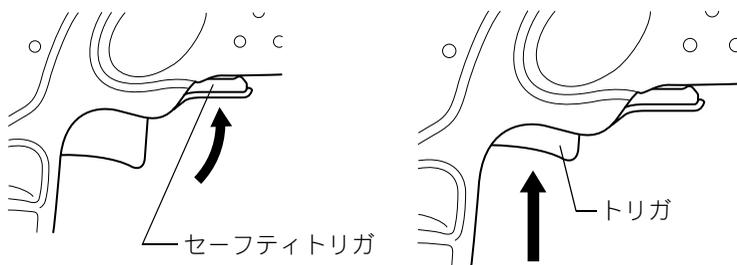
## ダブルトリガ（トリガ、セーフティトリガ）の使い方

### ⚠ 警告

本機にバッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたままバッテリーを差し込むと誤って発射された場合に事故の原因になります。

- ・ 本機は安全装置として通常のトリガに加えて、セーフティトリガが装備されています。ピンネイルを打ち込みする場合には、このセーフティトリガを引いた後にトリガを引くことで発射されます。



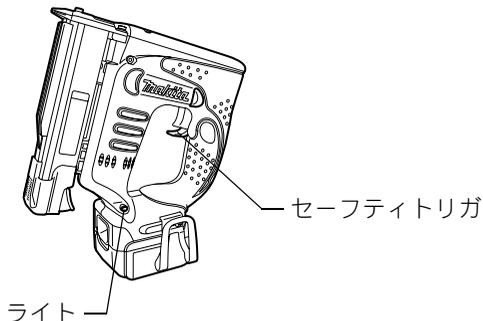
## ライトの点灯

### ⚠ 注意

ライトの光を直接のぞき込んだり、目に当てたりしないでください。

- ・ ライトの光が連続して目に当たると目をいためる原因になります。

- ・ セーフティトリガを引くと点灯し、離すと消灯します。



### 注

- ・ バッテリー容量が少なくなると、ライトは点灯しても打ち込みしなくなる場合があります。そのような場合はバッテリーを充電してください。

# 使い方

## ピンネイルの装てんについて

### ⚠ 警告

ピンネイルを装てんする場合は必ずトリガ、セーフティトリガから指を離しバッテリーを抜いてください。

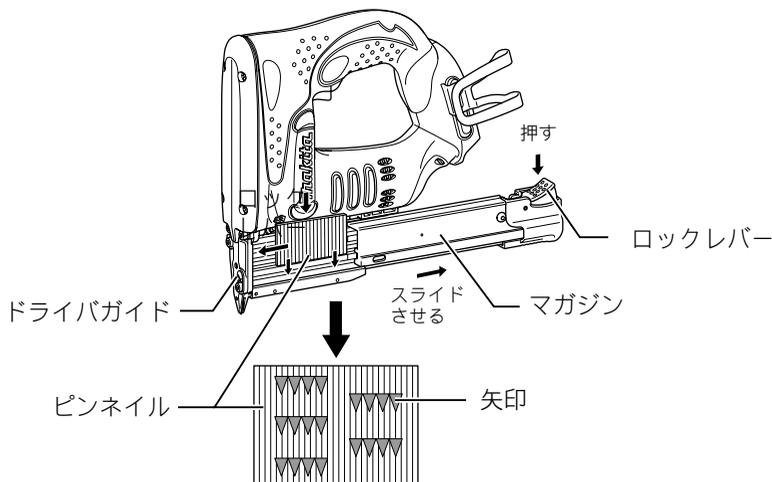
- ・ 誤って本機が作動すると事故の原因になります。

### ⚠ 注意

ピンネイルを装てんした状態で不用意にマガジンを開かないでください。

- ・ 特に高所での作業時にピンネイルが落下すると事故の原因になります。
- ピンネイルの向きに注意してください。
- ・ ピンネイルの向きを間違えるとドライバの磨耗を早めるのと、その他の部品を破損する場合があります。

- ・ バッテリーを抜きます。
- ・ ロックレバーを押してマガジンを開きます。
- ・ ピンネイルは打ち込む方向と矢印の向きを合わせます。
- ・ ピンネイルをマガジンに押し当て、溝の奥までしっかりと入れます。(ピンネイルの向きに注意してください。)
- ・ その状態でピンネイルをドライバガイドの奥までしっかり押し込みます。
- ・ マガジンをもとに戻し、ロックレバーを掛けます。



### 注

- ・ ピンネイルの連結が変形したものは使用しないでください。指定のピンネイルを使用してください。指定以外のピンネイルを使用しますと、釘詰まり、故障の原因になります。

# 使い方

## ピンネイルの抜き取り方

### ⚠ 警告

ピンネイルを抜き取る際は、必ずトリガ、セーフティトリガから指を離し、バッテリーを抜いてください。

・ 誤って発射された場合に事故の原因になります。

- ・ バッテリーを抜きます。
- ・ ロックレバーを押し、マガジンを開けます。
- ・ ピンネイルをマガジンの溝から抜き取ります。

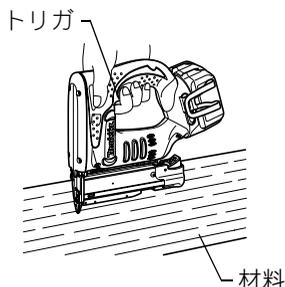
## 打ち込み方法について

### ⚠ 警告

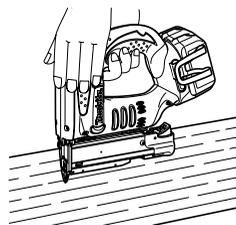
必ず射出口を材料に当ててトリガを引いてください。

・ トリガを引くだけで作動するので、誤って発射した場合に事故の原因になります。

- ・ 射出口を材料にしっかりと当て、セーフティトリガを引いた後にトリガを十分引けばピンネイルが打ち込まれます。図のように人差し指と親指で、本機の頭部をしっかりと押さえるグリップ形状となっています。打ち込み後は確実にトリガを離してください。



- ・ 打ち込みが不完全なときは、本機の頭部をしっかりと押さえて打ち込んでください。



## 注

- ・ すばやいトリガ操作を行った次のトリガ操作において、一瞬本機が作動するだけで打ち込まれない場合がありますが異常ではありません。この場合、一度トリガを離し、再度トリガを引くと打ち込むことができます。
- ・ 打ち込みが不完全なまま作業を続けるとドライバの耐久性を損ない、ドライバの折損や釘詰まり等の原因となります。

# 使い方

## 空打ち防止機能

### ⚠ 警告

ピンネイルを装てんする場合は必ずトリガ、セーフティトリガから指を離し、バッテリーを抜いてください。

- ・ 誤って本機が作動すると事故の原因になります。
- ・ ピンネイルの残りが0～3本になると空打ち防止機能が働き、トリガが引けなくなります。この場合、ピンネイルを追加装てんすれば、続けて打ち込みできます。

### 注

- ・ 空打ち防止機能が働いた直後に本機に残ったピンネイルと異なるサイズのピンネイルを打つ場合には、追加装てんしてから、残っていたピンネイルを捨て打ちしてください。

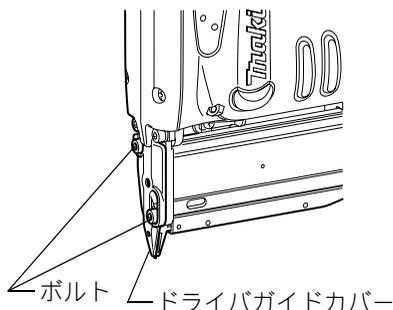
## 打ち込み調整について

### ⚠ 警告

打ち込み調整の際は、必ずトリガ、セーフティトリガから指を離し、バッテリーを抜いてください。

- ・ 誤って本機が作動すると事故の原因になります。

- ・ 本機はピンネイルの打ち込み量を調整することができます。付属の六角棒レンチを使用して、2本のボルトを1/4回転程度ゆるめてドライバガイドカバーをスライドさせることができます。最大1.5mm調整することができます。適切な位置でボルトをしっかり締め付けてください。



# 使い方

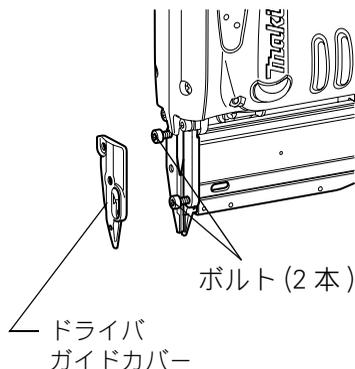
## ピンネイル詰まりの直し方

### ⚠ 警告

作業に入る前に、必ずトリガ、セーフティトリガから指を離し、バッテリーを抜いてください。

・ 誤って本機が作動すると事故の原因になります。

- ・ バッテリーを抜きます。
- ・ マガジン内に残ったピンネイルを抜き取ってください。
- ・ 付属の六角棒レンチを使用して、2本のボルトを2回転程度ゆるめます。
- ・ ドライバガイドカバーをスライドさせて取りはずします。
- ・ 通路に詰まったピンネイル、破片、接着剤、木くずなどをマイナスドライバなどで取り除きます。
- ・ ドライバガイドカバー側にも、ピンネイル、異物がないことを確認して、再び2本のボルトを締めます。



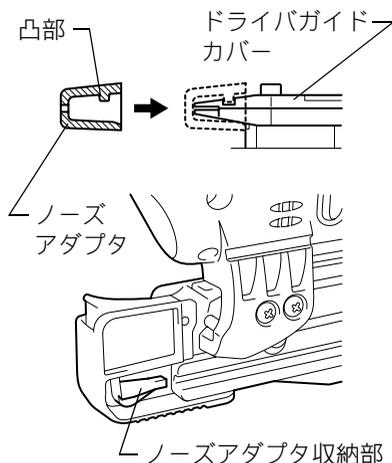
## ノーズアダプタについて

### ⚠ 警告

作業に入る前に、必ずトリガ、セーフティトリガから指を離し、バッテリーを抜いてください。

・ 誤って本機が作動すると事故の原因になります。

- ・ 化粧板等にピンネイルを打つ際、表面に傷を付けたくない時はノーズアダプタの内側の凸部をドライバガイドカバーの穴に合うように被せて使用してください。
- ・ 使用しない時は、マガジン後方の収納部に取り付けてください。



# 使い方

## フックについて

### ⚠ 警告

フックを使用する場合は、必ずトリガ、セーフティトリガから指を離し、バッテリーを抜いてください。

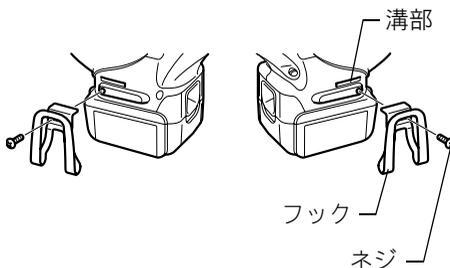
- ・ 誤って本機が作動すると事故の原因になります。
- ・ フックを腰のベルトなどにかけないでください。
- ・ フックがはずれて本機が落下した場合、誤作動する恐れがあり、事故の原因になります。



- ・ フックを利用すれば本機を一時引っかけておくのに便利です。
- ・ 本機に取り付けてあるフックは左右どちらにも取り付けることができます。

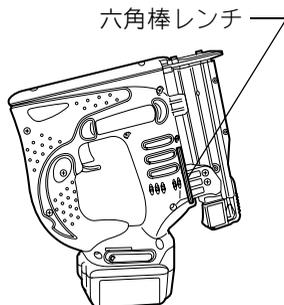
## フックの取り付け・取りはずし方

- ・ 取り付けるときは、本機の溝部にフックを差し込んだ後、ネジで固定します。左右どちら側にも取り付け可能です。
- ・ 取りはずすときは、ネジを緩めてからフックははずします。



## 六角棒レンチの収納

- ・ 付属の六角棒レンチは図のように本機に収納することができます。



# 使い方

## 1 回の充電での作業量

- ・ 数値は参考値です。
- ・ 打ち込む場所の材質などにより異なります。
- ・ トリガを最大に引き込んだ状態での値です。

モデル	バッテリー	ピンネイル径	打ち込み本数	材料
PT350D	BL1430	0.6mm	約 2500 本	幅木 石こうボード 12.5mm 木下地
PT351D	BL1830		約 3000 本	

## 注

- ・ 予備のバッテリーを使用して連続作業をされる場合は、本機を 15 分以上休止させてください。

### 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、本機よりバッテリーを抜いてください。  
・ バッテリーを本機に差し込んだまま行くと、事故の原因になります。

### 本機のお手入れ

- ・ 乾いた布か石けん水を付けた布できれいに拭いてください。

### 注

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコール等は変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

### ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。



882564A4

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)